



## ● 雪害に注意

### やむ得ず車で外出するときには

天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。



### 除雪中の事故防止

- 除雪作業は2人以上で行い、携帯電話を携帯しましょう。
- 屋根雪の除雪などは、必ず命綱を使用しましょう。
- はしごの固定を忘れずに。
- 晴天の日は雪が緩むため注意しましょう。
- 除雪機の雪詰まりを直すときは、必ずエンジンを切ってから行いましょう。

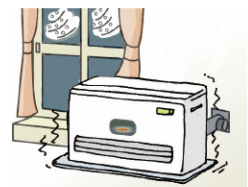


### 家の中にいるとき

停電が発生し、暖房機具が使えないことがありますので、停電時にも使用できる暖房機を用意しておきましょう。

FF式暖房機などの給排気口が吹きだまりでふさがれると一酸化炭素中毒を起こす可能性があります。

- 給排気口がふさがれていないか確認しましょう。
- 出入り口を確保するため、吹きだまりの状況を見て除雪しましょう。



### 車を運転しているとき

運転中に暴風雪となり視界が悪くなったときは、そのまま運転を続けるのは大変危険です。

- スーパー、コンビニエンスストア、人家などで天気の回復を待ちましょう。
- 気象情報や道路情報を確認しましょう。



### 車が立ち往生したとき

車が立ち往生したときは、ハザードランプをつけて後続車から追突されないように注意してください。

- 吹きだまりで積雪20cm程度でも発進できなくなる場合があります。
- ハザードランプを点滅、停止表示板を置きます。
- JAFなどのロードサービス、警察・消防、近くの人家に救助を依頼しましょう。
- 一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。暖房などでやむを得ずエンジンをかけるときには、マフラー周辺を確実に除雪し、さらなる降雪や吹きだまりで埋もれないように注意しましょう。

緊急時の  
連絡先  
※短縮ダイヤル

道路の異常を発見したら  
道路緊急ダイヤル #9910

車の故障・レッカー移動  
JAFロードサービス #8139

